

養父市の水道事業～現状と課題～



養父市イメージキャラクター
やっぴー

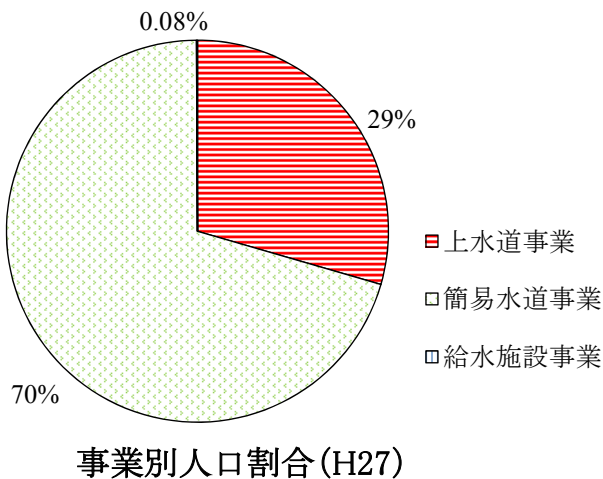
平成28年 7月 15日
公営企業の経営健全化等に関する調査研究会



兵庫県養父市長
広瀬 栄

1. 水道事業の概要

2



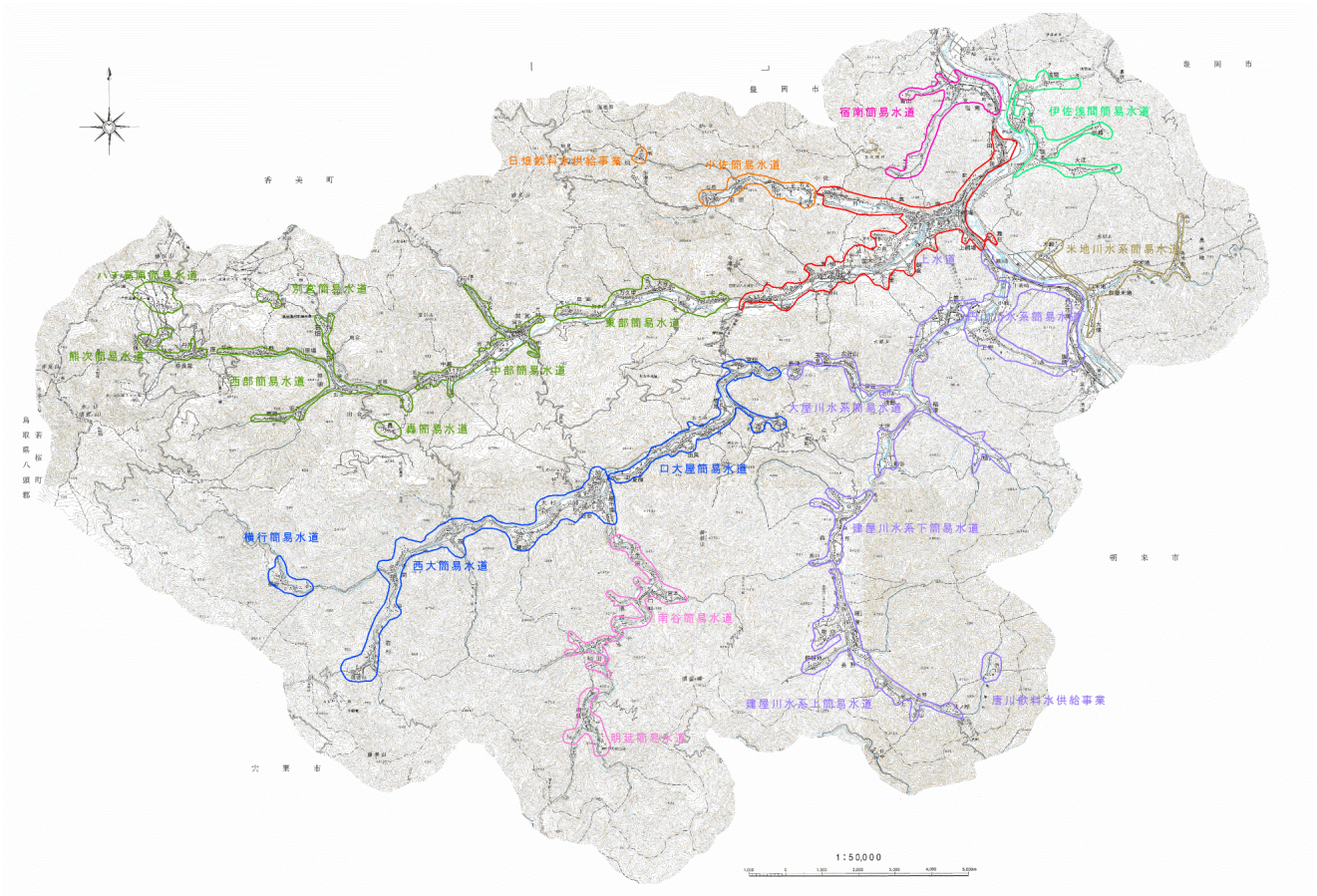
○総人口	25,006人
○給水人口	24,946人
○計画給水人口	30,691人 ※上水道、簡易水道のみ ※認可年月: S61.6~H24.3
○実普及率	99.8% ※給水施設含む
○上水道事業	1区域
○簡易水道事業	20区域
○給水施設事業	2区域 ※H28.3末現在

地形的特性

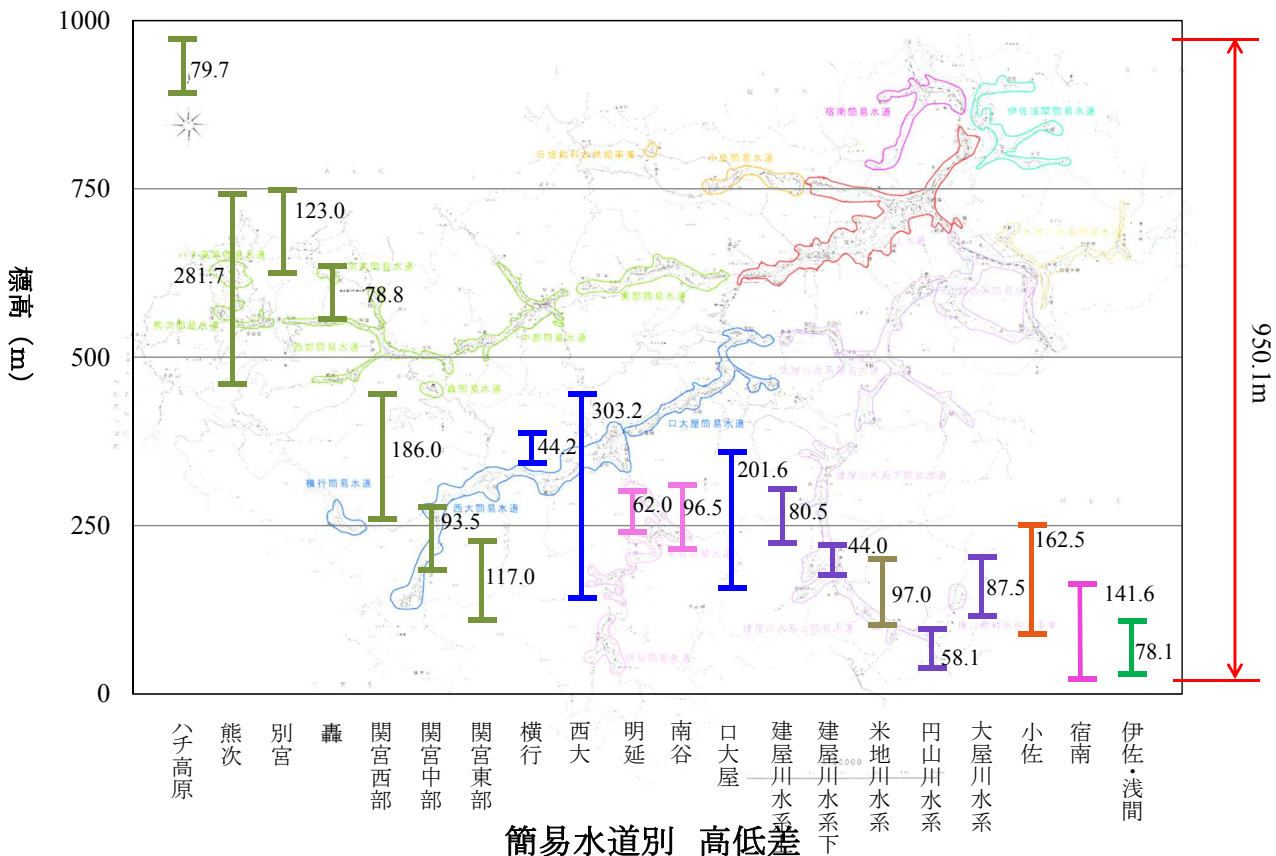
- 広大な面積 給水エリア約37Km²
- 起伏に富み入り組んだ地形
※高低差が大きく、谷が多い
- 点在した集落 154集落
管延長14.7m/人
※全国平均6.1m/人

※ 浄水施設 配水池 配管延長
および整備コストの増

1-2.給水区域



1-3.簡易水道における給水施設の高低差



1-4.水道施設一覽

施設内訳

区 分	現在給水人口	水 源				浄水場	配水池	加圧ポンプ場	減圧槽	配管延長(m)
		井戸	湧水	表流	計					
上水道	7,366	4			4	2	7	5	1	78,568.3
簡易水道	17,580	18	2	8	28	21	55	28	8	296,842.5
給水施設	21	1		3	4	2	2			2,880.0
計	24,967	23	2	11	36	25	64	33	9	378,290.8

※施設合計167箇所

浄水方法

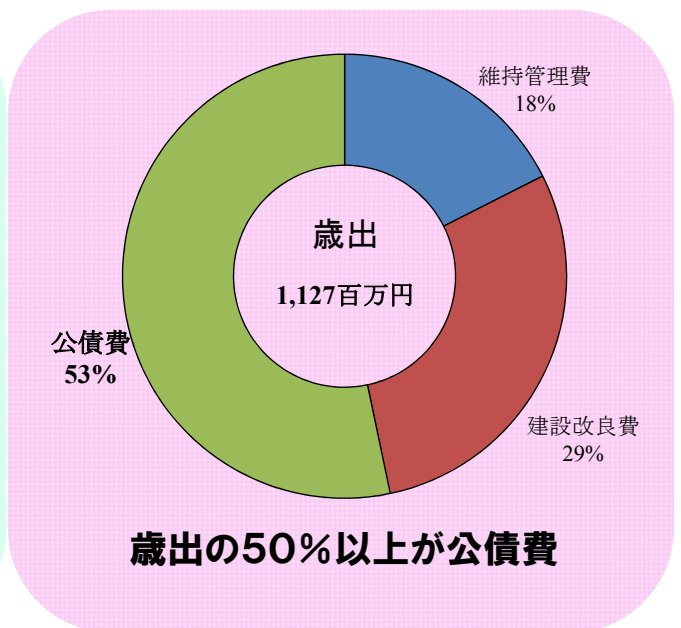
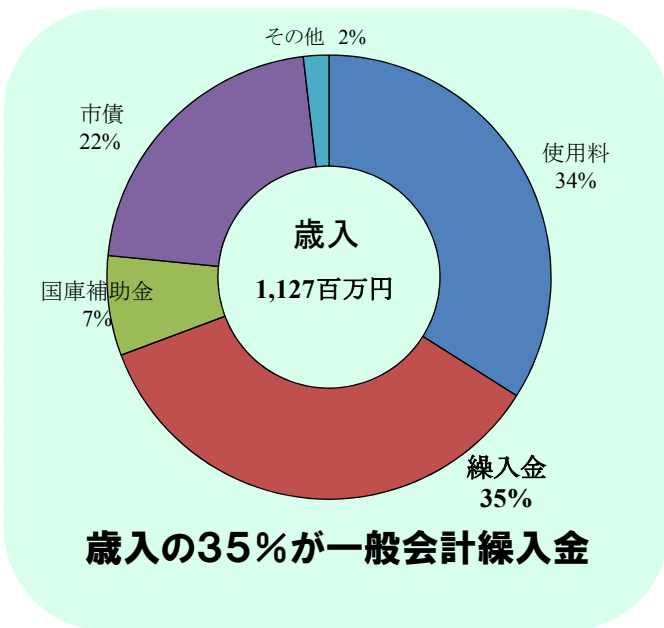
区 分	区域数	浄水方法等	箇所数
上水道	1	膜・UV	2
簡易水道	20	膜	8
		UV	1
		急速ろ過	5
		緩速ろ過	7
		滅菌のみ	2
		小計	23
給水施設	2	急速ろ過	1
		緩速ろ過	1

※浄水等施設27箇所

耐震化状況

種 別	%
基幹管路	18.0
浄水場	45.9
配水池	18.1

2.簡易水道決算状況(H27年度)



給水原価

431.60円

全国平均 310.56円

供給単価

208.88円

全国平均 167.43円

回収率

48.40%

全国平均 53.91%

2-2. 経営改善に向けた取組

✓ 組織の改編 (下水道課との統合による効率化)

水道職員数の削減

	H18年度	H19年度～	H25年度～	対H18年度 職員増減数
上水道	4	4	3	△1
簡易水道	8	5	5	△3
計	12	9	8	△4

平成27年度までの累計効果額

162,000千円

✓ 起債の繰上償還 (補償金免除による)

平成19～21年度

実施額944,097千円

効果額

300,751千円

✓ 料金改定

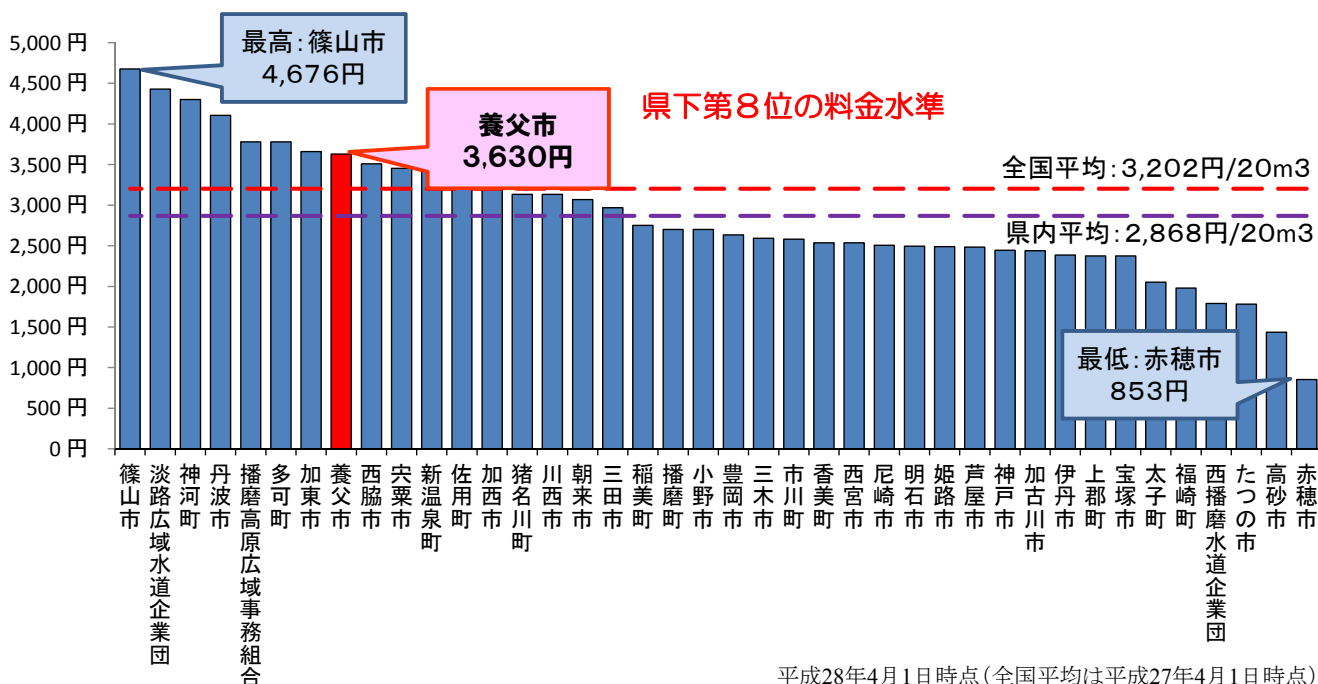
平成21年度に
5種の料金体系を一番高い体系に統一

平均改定率36%

平成27年度までの累計効果額

697,583千円

2-3. 兵庫県事業体別水道料金

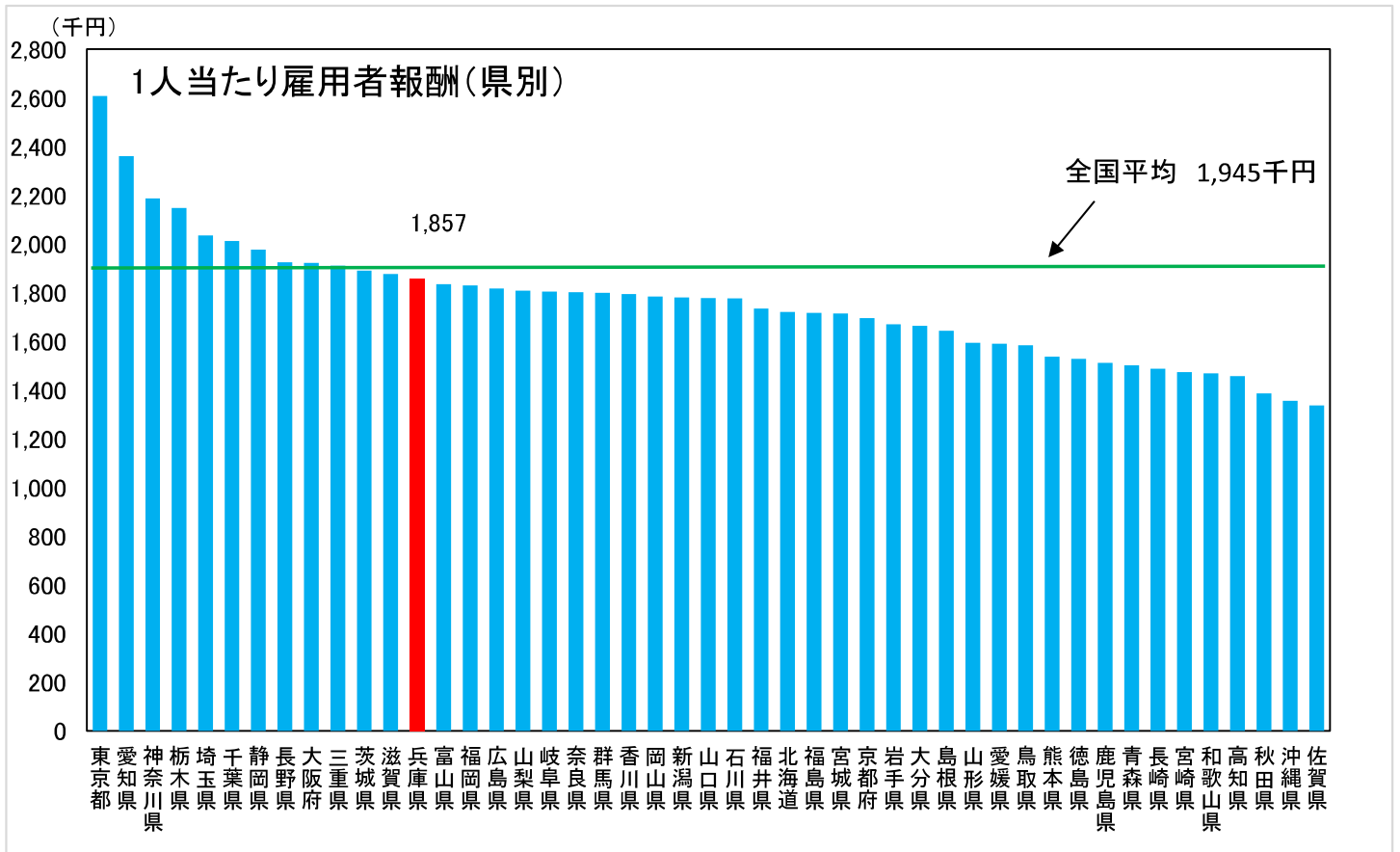


県内水道事業体の水道料金(円/20m3)

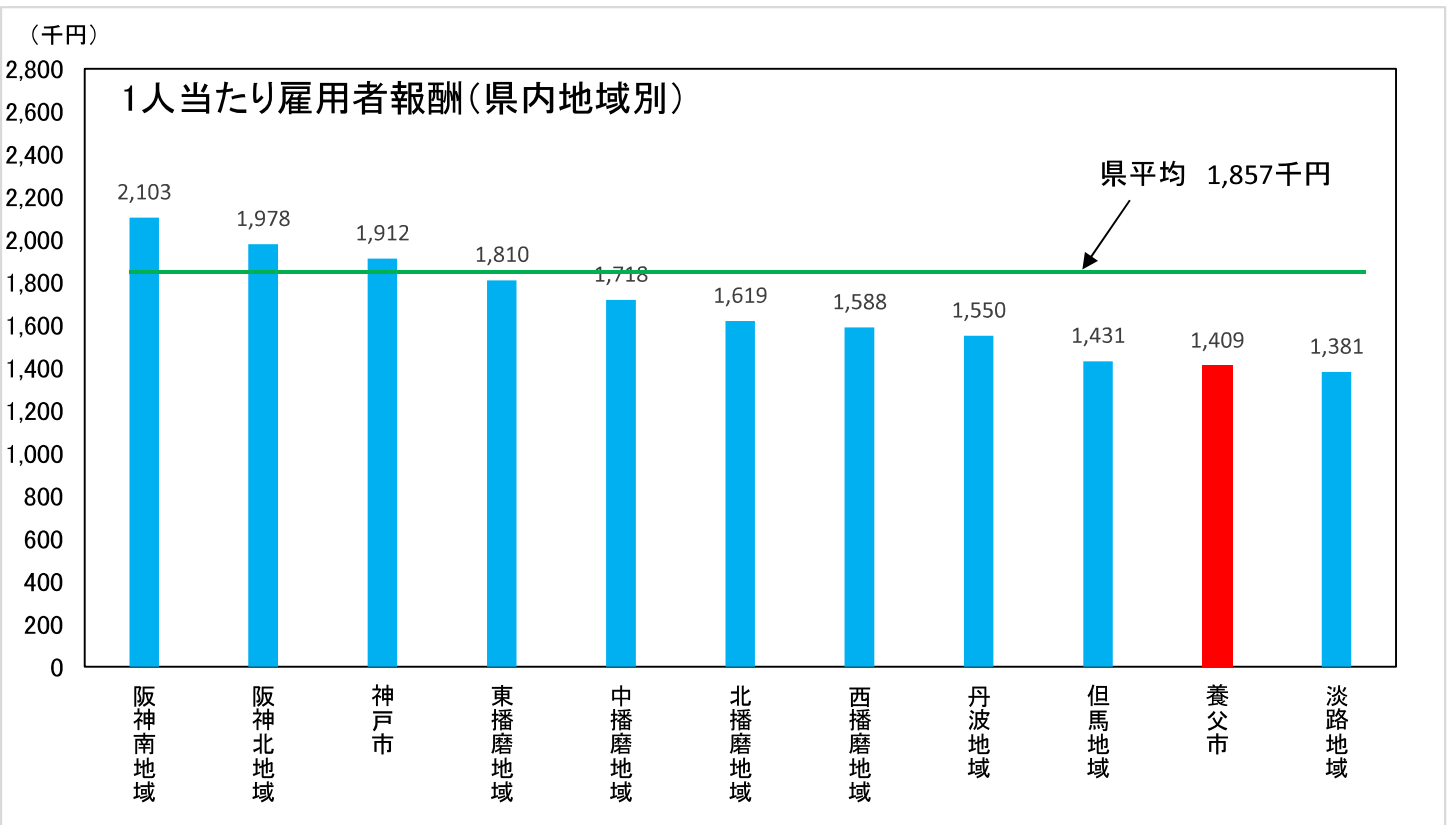
※兵庫県水道事業のあり方懇話会資料より

兵庫県内でも5倍以上の料金格差。地方創生の阻害要因にも。

2-4.年間所得（雇用者報酬）比較

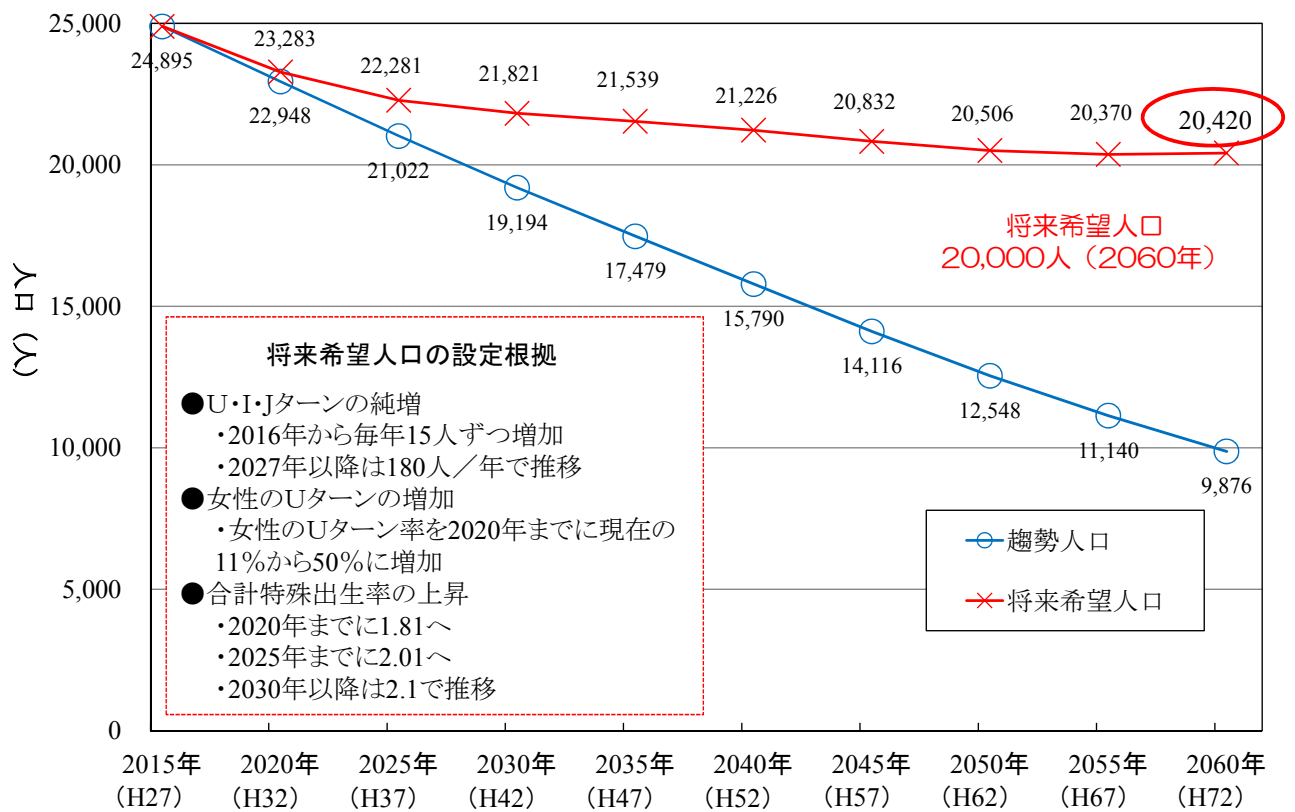


平成25年度 県民経済計算より



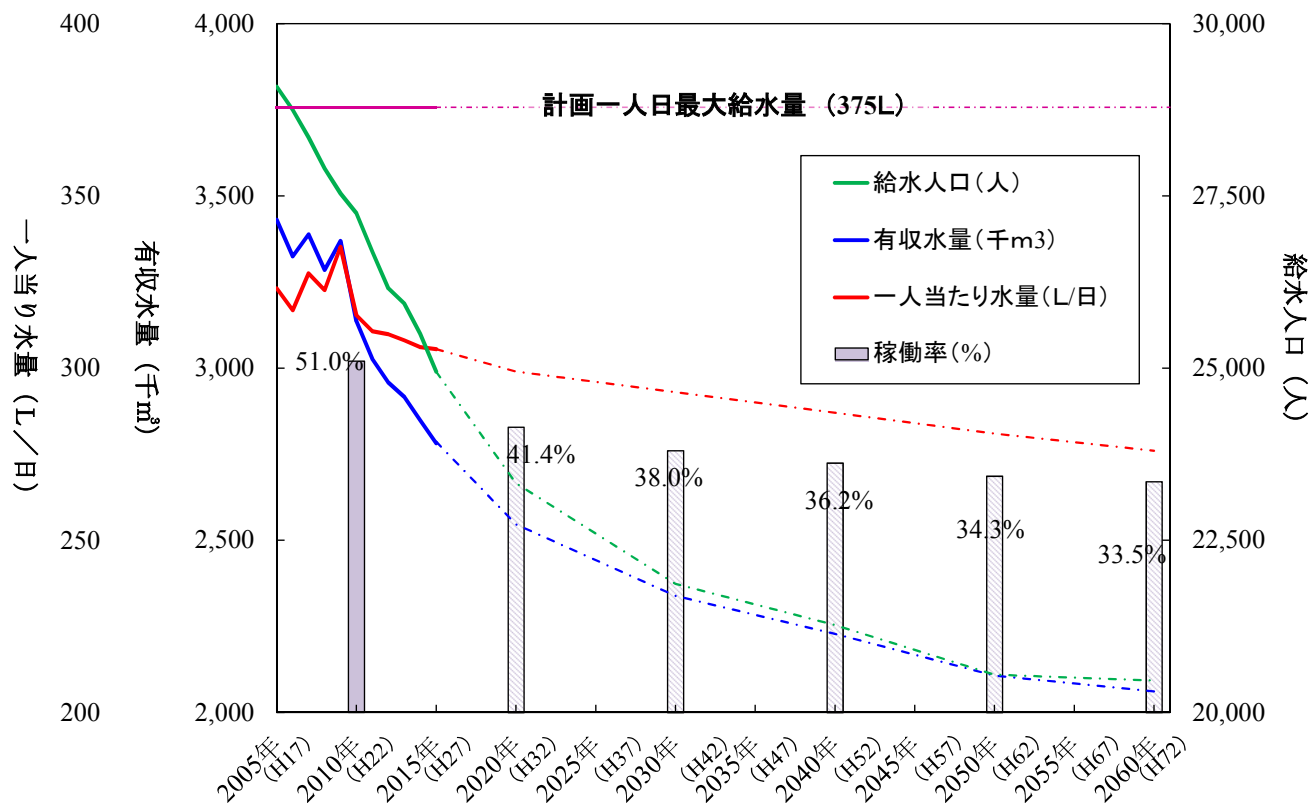
平成25年度 市町民経済計算より

3.将来人口推計



養父市将来人口推計

3-2.水需要の推移



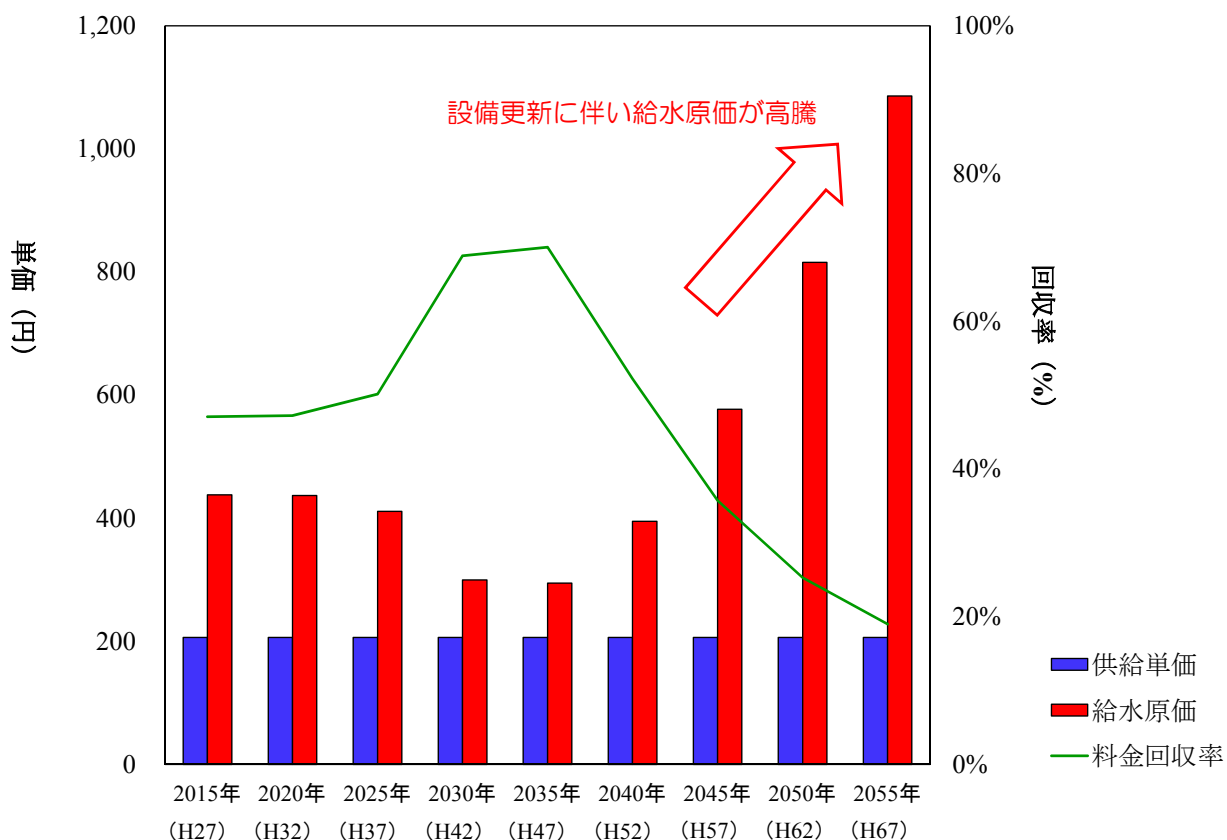
※ 2015年以降については養父市独自推計、「まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略(平成27年10月)」内、「養父市将来希望人口」より推計

3-3. 公共施設に関する将来コスト

	今後の累計		%
	40年累計	単年度平均	
建物	992.5 億円	24.8 億円	44.8%
道路	301.4 億円	7.5 億円	13.5%
橋梁	124.1 億円	3.1 億円	5.6%
水道	438.5 億円	11.0 億円	19.9%
下水道	360.1 億円	9.0 億円	16.2%
合計	2,216.6 億円	55.4 億円	

水道が市全体の2割を占める

3-4. 経営見通し



4. これからの水道事業に向けて①

14

～ 水道の果たす役割 ～

中山間地域における水道事業の運営は効率が悪いが、従来から水系伝染病予防などの公衆衛生の向上のみならず、地域の防火対策としても大きな役割を担っており、市民生活において大変重要なインフラである。

こうしたインフラの安定的な運営があってはじめて、人口施策や地域の特性を生かした産業振興など多様な取組が可能となる。

地方創生において不可欠なものである。

➤ 今後の取組

- アセットマネジメントによる水道ビジョンの策定(平成28年度)
- 経営戦略の策定(平成28年度)
- 簡易水道を全て上水道へ統合(平成29年度)

4-2. これからの水道事業に向けて②

15

～ 過疎地域における水道経営 ～

人口が少なく地形条件も不利な過疎地域は、原価の大半を資本費が占めるため上水道へ統合しても経営の改善につながらない。根本的な経営改善に向けた対策が必要である。

施設更新に伴う財源

- 施設更新等に伴う補助要件の緩和及び補助率の増
- 上水道事業における繰入基準の緩和 等

広域化の検討

- 経営統合も近隣の類似自治体間での統合では効果は少ない
- 施設統合は地形的な要因から整備コストが過大となり非現実的